

滋賀県立
聴覚障害者センター
だより
第30号



発行日/平成15年9月30日
発行所/草津市大路2丁目11-33
TEL 077-561-6111
077-561-6133
FAX 077-561-6112
077-565-6101
E-mail: shigajou@eos.ocn.ne.jp

「被爆の悲惨さ語り継ぐ」
長崎・平和祈念式典でろうあ者が平和の誓い

長崎市で8月9日に開かれた長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典で、被爆者を代表して、ろうあ者の山崎栄子さん(76才)が初めて手話による「平和の誓い」を行い、ろうあ被爆者の苦しみや平和への願いを訴えました。

山崎さんは、生まれながらにして耳がきこえません。疎開先から爆心地近くの自宅に3歳年上の姉を探しに向かった所で被爆。「地面をたいたいて泣く母の姿を見て姉の死を悟り、母親の背中にすがって大声で泣いた」と山崎さん。

ろうあ者はさまざまな情報から遠ざけられていました。山崎さんは、姉を奪った爆弾が、ただの大きな爆弾でなく原爆だったと知ったのは終戦後1年たってから偶然に見た写真展で知りました。放射線の後遺症を知ったのは被爆から約30年がたってからです。

その後、地元の中学校から被爆体験の講演を依頼されたことを皮切りに、手話による語り部として活躍。「58年間沈黙してきたろうあ者の気持ちを代

弁したい。「命が続く限り戦争の悲惨さと平和の尊さを語り続けていきます」と訴えを結びました。このニュースを見た聴覚障害者(栗東市)も「よかったです。感動した」と語っていました。

身体障害者補助犬とは

○法による認定をうけた以下の3種類の犬で次のような訓練を受けています。

盲導犬…目の不自由な人のために歩行の安全を確保するよう訓練されています。「路上の障害物を避けたり交差点で止まる」「建物の入り口や階段などの目的物を探す」「場合によっては使用者の指示により安全を優先して動く」等の訓練。

聴導犬…耳の不自由な人のためにブザーや電話の呼び出し音等を聞き分け、必要な情報を伝えたり、誘導したりするよう訓練されています。「非常ベルなどの警報音や危険信号を知らせる」「後方からのクラクションや自転車ベルを知らせる」等の訓練。

介助犬…肢体が不自由な人のために、物を拾い上げたり、着替えを手伝ったりするよう訓練されています。「車いすの方向転換や進行を手伝う」「ドアの開閉やスイッチの操作」等の訓練。



県内の主な取り組みでは、①県内の盲導犬使用者を訪問して同伴上の実態を調べる。②盲導犬の訓練の様子を学ぶ。③補助犬同伴可のシール(左記)、宣伝・チラシの作成と配布する。④商

社会参加のための補助犬法のPR

啓発推進員を聴覚障害者センター等に配置

滋賀県では、身体障害者補助犬法(平成14年5月公布)の完全施行を今年10月に控え、県民や企業への理解を推進するため啓発推進員を採用し「補助犬法」のPR活動等をはじめました。推進員は、当センターと視覚障害者センターに各1名が配置されています。

現在、補助犬として活躍している数は盲導犬が927頭で、聴導犬19頭・介助犬26頭が障害者の日常生活を支援しています(滋賀県では盲導犬8頭)。

しかしこれまでは、ペットと同様に扱われ宿泊施設や飲食店で同伴を断られるなどの支障がありました。法律の施行により、公共施設や不特定多数が利用する施設は補助犬の同伴を拒否してはならないと定められました。

県内の主な取り組みでは、①県内の盲導犬使用者を訪問して同伴上の実態を調べる。②盲導犬の訓練の様子を学ぶ。③補助犬同伴可のシール(左記)、宣伝・チラシの作成と配布する。④商

一方、聴導犬の利用者はまだ少ないものの関心は高まっています。聴導犬の利用者は次の条件となっています。聴導犬当センターにお問い合わせ下さい。日本サポートドック協会副理事長(守山市在住)が窓口となっています。

①身体障害者手帳を取得している②18才から65才③家の中で犬が飼える状態④使用者と家族が愛情を持って犬に接する⑤餌代、予防接種の費用負担⑥合同訓練(生駒市)と認定試験(山梨県)に同伴する場合の費用負担

手話の拠点!!

手話研修センターがオープン

手話通訳者・聴覚障害者の福祉職員の養成等事業を行う専門的な施設として「社会福祉法人全国手話研修センター・嵯峨野コミュニティ」が今年9月1日よりリニューアル開所となりました。(前号詳細) 3か月にわたって聴覚障害者のためのバリアフリー機能を整備する改修工事がすめられました。全館にCS聴覚障害者緊急災害放送受信設備や文字表示版、全客室にフラッシュランプ式ドラランプ・火災報知器緊急通報・目覚まし時計、外線直結FAX、磁気誘導ループ、公衆FAX、手話トレーニング用スタジオ、IT学習室などを整備しました。このように研修・会議・ホテル・宴会・レストラン・展示などを揃えた聴覚障害者関係施設は世界ではここだけといえます。

この日に先立って8月30日、盛大な竣工式が開催されました。当センターから辻所長、当法人から藤田理事長が出席。厚生労働省大臣および京都府知事の祝辞をはじめ、多数の来賓300人を超える出席者があり、厳粛なうちに喜びと期待に満ちた竣工式となりました。続いて翌日の31日に「京都嵯峨野手話まつり」が同会場で行われました。全国から聴覚障害者ら約3千人がこのまつりに来場、地元の商店街など市民との交流が深められました。

「健康と食事」ろう栄養士が講義

日曜教室 開催

「終戦時の話」
とのテーマで

七月二十六日(土)、愛知川町福祉総合センター「愛の郷」において、愛知犬上地区聴覚障害者協会と彦愛犬地域障害者生活支援センターステップアップ21の協力を得て、日曜教室「健康と食事について学ぼう」&「交流会」を開催しました。参加者は四十人。愛知川での日曜教室は初の実施でした。

午前中は、栄養士で聴覚障害者もつ小西久代さんに健康と食事についてお話しいただきました。

まず、参加者全員にアンケートに答えてもらい、毎日の食生活についてチェックしました。

その後、「健康は食事が基本。一日三十品目を目指し、栄養のバランスを整えた食事を三食規則正しくとることが大切」と、食品モデルを使い具体的に説明されました。

質問にも直接手話で答えられ、大変分かりやすい講義となりました。

午後は、愛知犬上地区の司会進行で交流会を行いました。「怖い話」と



講師の小西さん

参加者から体談話を話してもらいました。全身を使った熱心な話しぶりに会場は盛り上がりました。

最後は手話ゲームを楽しみ、一日を通し有意義な時間を持つことができました。

11月15日(土)に聴覚障害者の緊急災害情報保障訓練を実施します。場所は当センターおよびその周辺、栗東芸術文化会館さくら、そしてCS障害者放送統一機構、全国数カ所の関連団体や施設です。参加者は県内の聴覚障害者や関係者、全国数カ所の団体、全国の「アイ・ドラゴンII」[※]設置者など合わせて約5400人。今年6月に公表された琵琶湖西岸断層帯等の長期詳細に基づき、マグニチュード7.8級の地震を想定し、次の訓練を行います。

いつ起こるかわからない!?

聴覚障害者のための
緊急災害訓練とシンポジウム
11月15日(栗東さくら)開催

①CS通信での「目で聴くテレビ」緊急放送実施訓練

地震発生後、CS障害者放送統一機構が「目で聴くテレビ」大阪放送センターからCS通信で緊急放送を行ない、全国の「アイ・ドラゴンII」設置者へ緊急信号を発信、受信確認や、一般放送のリアルタイム手話・字幕放送、独自番組の放送、視覚障害者向け副音声解説放送の実験放送などを行う。

②Eメールを使った携帯電話などへの緊急情報発信訓練

当センターからインターネット情報発信システム「アイ・ドラネット」を使い、事前に携帯電話やパソコンのアドレスが登録された聴覚障害者、支援者、ボランティアにEメールを発信し、受信した聴覚障害者の安否確認や手話通訳、要約筆記などのボランティアの支援を行う。

③滋賀県立聴覚障害者センターとその周辺での聴覚障害者の避難訓練

当センターの利用者、職員、および聴覚障害者共同作業所「33企画」や近隣の聴覚障害者を対象に、近くの指定避難所への避難訓練および避難所で聴覚障害者に対して手話や字幕などで情報保障を行う。

④聴覚障害者の災害情報保障に関するシンポジウム

栗東芸術文化会館さくらを会場に滋賀県内を中心とした聴覚障害者・支援者・関係者など約300名が集まり、聴覚障害者の災害情報保障に関するシンポジウムを行い、同時に参加者の携帯電話メールへもEメールで緊急情報を発信し、返信の訓練を行う。

※注「アイ・ドラゴンII」：身体障害者日常生活用具 聴覚障害者情報受信装置をさす

※折り込み図：「聴覚障害者緊急災害情報保障訓練」を参照



盲ろう者とのコミュニケーションを体験

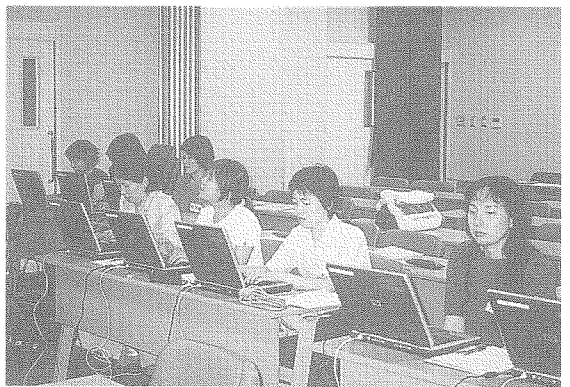
「自由に外出したい」「人と交流したい」そんな盲ろう者（目と耳に重複して障害のある者）のニーズを実現するために通訳・介助者が不可欠です。しかしながら、滋賀県には登録されている通訳・介助者は39人だけです。そこで、県では昨年度に引き続き、NPO法人しが盲ろう者友の会の協力を得て「盲ろう者通訳・介助者養成講座」を開講しています。現在約40名の受講生が、実際に盲ろう者から講義を受けたりして、外出介助やコミュニケーション支援の方法などを学んでいます。また、盲ろうの疑似体験や交流を通して、盲ろう者の気持ちを理解していきます。

学んでいます!!盲ろう者通訳・介助者をめざして

7月より「盲ろう通訳・介助者養成講座」開講

受講生からは「伝えることのむずかしさはあるが、うまく伝えることができたときはうれしい」「障害者が普通に生活するために福祉の充実が大事」などの感想が寄せられています。

講座には、ホームヘルパー・ガイドヘルパー・手話通訳者・要約筆記者など資格を持った人がおり、湖北や湖西など滋賀県全域から集まっています。11月の講座修了後には通訳・介助者としての活動が期待されます。



新しいパソコンで力を発揮

「やっとパソコンが揃いました」

平成十五年年度 要約筆記養成講座基礎コース

今年度の要約筆記基礎コースは、会場を各地に移動して開催してきました。理論などを共通に学んでいたく共通課程は、野洲町で、手書きの実技は長浜市で開催しました。長浜方面への要約筆記派遣が増えつつあること、湖北方面で開催してほしいという要望が寄せられたことからでした。講座の回を重ねる毎に、「難しすぎて不安」、「役立つ要約筆記ができるのだろうか」という感想があり、開催側も不安を感じ一幕もありましたが、現場実習に入ると、なんと不安一杯だと言われていた受講者の方々、真剣に取り組んでいたが、学習の成果を発揮できました。パソコン要約筆記クラスは、年度初め、講座で使用できるノートパソコンが不足しており、どのように開講しようかと、頭をかかえておりました。ここ数年、福祉助成先に継続的に申請を提出しておりましたが、残念ながら希望も叶わず困惑していたところ、県の取計いで栗東市の財団法人「ダイロン福祉財団」に申請を提出致しました。幸運なことに、厚いご理解をいただき、ノートパソコンへの助成をいただいたおかげで、ノートパソコン複数台を購入することができました。

パソコン要約筆記による派遣が増すなか、指導環境の整備とともに、より養成に熱意を注ぐことができ、多くの聴覚障害者に音声の情報を保障できると考えています。

センターだより

一年で一番いい季節がやってきました。暑くもなく、寒くもなく、何を食べても美味しい時期です。本を読むのも楽しいし、友達と映画を見に行くのもワクワク！去年買ったお気に入りのセーターをタンスから出してきて着ると、暖かくてニコニコ顔になってしまうのは、なぜ？

秋は、田んぼの稲穂だけでなく、心も豊かに実ります。あなたの今秋のテーマは何ですか？

いつも新鮮な心で、新しい事、未経験の世界に挑戦し続けたいですね。気持ちは常に若々しく、真夏のオレンジみたいにフレッシュな毎日をお過ごしください。(M.S)

新任職員紹介



城島 勝治 さん

身体障害者補助犬法の施行により、この7月1日から補助犬の啓発推進員として勤務しています。現在、湖南湖西地域の官公庁・商工会議所・宿泊施設・飲食店等に訪問し、パンフレットの配布と法律等の説明を進めています。当センターでは、補助犬所有に関する相談も受け付けていますので、相談したい方は、ご連絡下さい。

『おしえて！介護保険』がビデオになりました

今年1月から3月まで、CS障害者専用放送「目で聴くテレビ」で放送された聴覚障害者向け介護保険解説番組『おしえて！介護保険』がビデオになりました。放送された12話（各12分）144分をビデオ用に105分にまとめたもので、当センターがその編集に関わっています。

内容は、ドラマ形式で、ろうの母親を持つろう者の主人公が突然母親の介護の問題に直面し、介護保険制度のしくみやサービスの利用方法を勉強するに従って、ろう高齢者が介護保険制度を利用する場合に起こる問題を改めて認識していくというものです。インタビュアや解説、全国各地での取り組みなどを交え、制度の概要・申し込みと手話通訳・訪問調査の様子・介護度の判定・限度額と自己負担額・ケアプランの作成・サービス等、介護保険の申し込みからサービスの利用までの様子やろう高齢者の問題を紹介しています。わかりやすく解説しています。

介護保険サービスを受ける、または受けようとしているろう高齢者やその関係者のみならず、手話を学習している方や介護保険の窓口となる公的機関、または介護保険サービスを提供する事業者の方にもぜひ見ていただきたい内容です。

ワンポイント・パソコン講座

— ワードで秘密文書を作ろう！ —

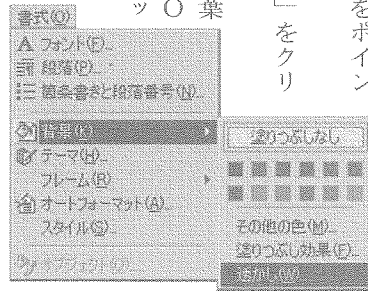
ワードで極秘書類を作ってみませんか？
仲間だけで回覧したい内緒の話、企業内の機密事項など、他の人に見られちゃ困る大事な書類には、透かし文字を挿入しましょう。



ビデオの一場面

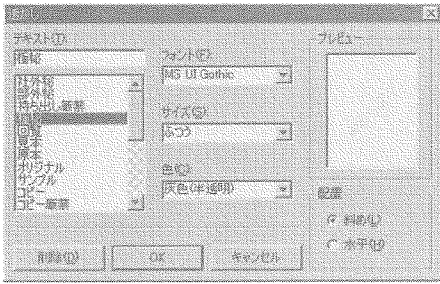
このビデオに関する問い合わせは、当センター職員の小竹か、(働)全日本ろうあ連盟(T E L 0 3 - 3 2 6 8 - 8 4 7 ・ F A X 0 3 - 3 2 6 7 - 1 3 4 5 5)まで

- ① ワードで普通に文書作成する！
- ② 文書を保存する
- ③ メニューの「書式」をクリック！
- ④ 「背景」をポイントする！
- ⑤ 「透かし」をクリック！
- ⑥ 好きな言葉を選んでOKをクリック！



さて、いかがでした？透かし文字が文書に入ったはずですよ！
透かし文字を止めたい時は、もう一度、メニューの書式→背景→透かし！
今度は、OKボタンじゃなくて、削除ボタンをクリックしてネ！

「透かしのダイアログボックス」この画面から、「極秘」「回覧」「見本」など、透かしを選んでね。



センターの案内看板が



完成しました

かねてから、センターに来所された方から、「場所がわかりにくいので、案内の看板を設置してほしい。」との声がありました。今年度予算で認めて頂きましたので、サンサン通りに1基と、センターの屋上に2基写真真のような看板を設置しました。最近当センターに他府県から見学に来られる方や、聞こえの相談に初めてこられる方が多くなってきました。これからは、この看板を目印にして、センターに来ることが出来ます。国道1号線やサンサン通りからもよく見えます。センターの場所をご存じない方に、教えてあげてください。聴覚障害者のセンターの利用が今後も活発になりますよう、努めて参ります。



サンサン通りにも設置